

日立グループにおける大規模テレワーク環境整備への 取り組み ～COVID19への対応～

武藤 彰久¹

概要：2020年3月、COVID19の感染拡大、及び緊急事態宣言の発令を受け、日立グループでは社会経済活動の維持に必要な業務を除き、「原則在宅勤務」の方針を打ち出し、約8万人のリモートアクセス同時接続、全社平均約7割の在宅勤務率を実現した。その実現の裏では、社外環境（インターネット）から社内IT環境へのリモートアクセス急増による、ネットワーク帯域の枯渇／機器負荷の急激な増加、機器増強を計画するが世界的な機器不足など、これまで経験したことが無い様々な問題に直面した。本講演ではこのような問題に対し、日立グループの事業を止めないためにIT部門がどのように行動し、対策にあたったかを、アーキテクチャ・データ分析・運用の観点を交えながら述べる。

¹ (株)日立製作所 IT デジタル統括本部